2013 Autumn/Winter

ハイ・ベック タイムズ

Best Eco Cleaning

編集発行 株式会社サンワード
http://www.sunward.co.jp/

第四の目

近年、食品の産地偽装や違法な添加物、また化粧品や医薬品にまで製品に対する信頼が失われてきている様に感じます。

昔から日本には製造をも含めた「商道徳」という文化がありました。現代の行き過ぎたかもしれない資本主義の中でそれが薄くなってきてしまっているのかもしれません。

物事をどの様に「見るか」という事に関して、三つの目を持ってすると良いと言われます。

第一は「虫の目」複眼で様々な角度から物事を見るという目。第二は「鳥の目」高い位置から俯瞰的に全体を見回してみるという目。第三は「魚の目」潮の流れをみる様に流れを見失わない、変化を捉える目。これらの三つの視点は、今の言い方ではミクロ・マクロ・トレンドと少し前から言われていた事ですが、最近は第四の目として「心の目」という目が提唱されています。アナログな表現の見方ではありますが、実は一番難しい、かつ一番大事な目ではないでしょうか？

現状を常に反省・検証しながら、必要な事を見極め、また新しい進歩の為に研鑽していく、製品を使って頂いているお客様の声に寄り添った、必要とされている誰にも恥じない最高の商品をつくっていく、これこそが前にも述べました「商道徳」の基本のように思えます。

ハイベックはドライマーク衣料用洗剤として産声を上げて、32年になろうとしています。そのパイオニアとして、これからも四つの目をしっかり見開いて、信頼される製品作りをしてゆきたいと考えて居ります。

ハイベックで清潔!! お布団洗い

人間は一晩でコップ1杯分もの汗をかくといいます。汗の成分（塩分・尿素・乳酸・アンモニア）は残留するとダニの養分に・・・。布団の中のダニやその死骸・糞は喘息・アレルギー・アトピーを起こす要因の1つです。

DETA FILE

ダニ

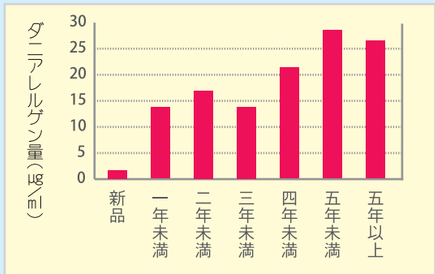
産卵数：50～100個
発育期間：2週間～1ヵ月
寿命：2～3ヵ月
好物：汗・フケ・アカ・カビ・食べ物のカスなど
◎10週間で30匹が1万匹に増えるほどの繁殖力
◎一生のうちに約500個の糞をする

布団の中のダニに要注意!!

ダニは布団1枚に数十万匹いると言われています。高温・多湿で、餌となる汚れが最も蓄積されている布団は、家庭の中でも1番のダニの住家なのです。

布団をこまめに干したり布団乾燥機を使って湿気を取り除くことで、ダニの増殖を軽減することができます。しかし、干すだけのお手入れでは、ダニの餌となる布団の汚れを取り除くことはできません。定期的に布団を干すことももちろん大事ですが、天気の良い日にはたっぷりのお水を使って、布団の汚れをスッキリ洗い流しましょう。

※枕も布団と同じです。枕も一緒に洗いましょう!



掛け布団のダニ汚染状況グラフ　※1

寒い季節もふわっと温か

布団には羊毛・羽毛・綿・合成繊維などたくさんの素材があります。購入後、ふかふかだった布団も時間が経つにつれ、潰れてペッタンコになってしまいます。潰れた布団には湿気がこもりやすく、弾力性がなくなってしまいます。布団は汚れを取り除くことで、空気を含みやすくなり保温性も良く、寒い冬でも暖かく眠ることができるようになります。

ハイベックでの布団の洗い方

洗濯機でおまかせ

1 たたむ/しばる

丸めてヒモでしばる

2 つけ込み

2～3回押し洗い

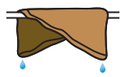
排水

3 すすぎ

新しい水を入れ2回すすぐ

排水

4 脱水

5 三角干し


浴槽でつけ込み洗い

1 たたむ

2 つけ込み

空気を押し出してからつけ込む

3 排水

浴槽の縁に掛け水気を取る

4 すすぎ

シャワーをかけながらしっかりすすぐ

排水

5 脱水

6 三角干し

大きくて家庭で洗えない敷布団は敷パッドなどを利用することで、汗や皮脂などの汚れが直接布団に付着することを防ぐことができます。敷パッドは家庭での洗濯が可能ですので、ハイベックでこまめに洗って清潔に保ちましょう。

※1　吉川翠・田中正敏・戸矢崎紀紘+生協・化学情報センター共著「寝室・寝具のダニ・カビ汚染（井上書院）」より

家庭で出来るシミ抜きのコツ

ハイベックのシミ抜き 基本編

シミになっている部分に水をたっぷり含ませ、ハイベックの原液を付けた専用ブラシで一定方向に擦ります。頑固な汚れは時間をかけて辛抱強くブラシ掛けを行って下さい。

※シミ抜きをする前には必ず色落ちのチェックを行って下さい。

・・・デリケートな素材の場合・・・

軽く叩いて汚れを落とします。素材によっては擦ると毛羽だったり、白けてしまいトラブルの原因になることも。（麻・テンセル・シルクなど）

ディスペンサー のすすめ

家庭でのシミ抜きにとても便利なディスペンサー。ハイベックの原液を少し移し替えておくと、必要な分量をサッと出すことができます。ディスペンサーは100円ショップなどで簡単に手に入りますので、是非お試し下さい。

身近なものでプロの技編

●落としにくいシミの時は・・・

原液をのせて濡れタオルを被せ一晩置くと汚れが分解され、シミが落ちやすくなります。
※単色で色落ちしないものに限ります。

●頑固な汚れをどうしても落としたい時は・・・

たっぷりの水と原液をのせスプーンの柄の先でシミの部分を擦ると、汚れがかき出されます。生地によっては繊維を傷めてしまう事もありますので、状態を見ながら行ってください。

シミ抜きはスピードが命です!

汚れは時間が経つと定着してしまい、落ちにくくなってしまいます。無理に落とそうとすると生地に負担を掛け痛めてしまい、更に着用できなくなることも…。
汚れが染めに変質したり酸化する前に、付いた汚れは早めに落とすように心掛けましょう。

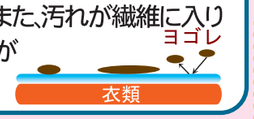
衣類のコンディションを整える ハイベック仕上げ剤

風合い回復

新しい衣類には、撥水加工・ツヤ・光沢・ハリ・帯電防止などの加工が施されています。しかしお洗濯をくり返す事で、それらの加工が失われてしまいます。そんなおしゃれ着を新品時の風合いに回復させる働きがあります。

汚れがつきにくい

衣類全体をコーティングしますので、外部からの汚れをつきにくくします。また、汚れが繊維に入り込むことを防ぎますので、汚れがついても落ちやすくなります。



静電気防止

繊維に膜を張る事で、毛羽立ちやゴワつきを抑えることができます。繊維同士の摩擦が減り、静電気が起こりにくくなります。

シワになりにくい

型崩れしにくい

繊維に防シワ性・反発弾性などの効果を施します。ボリューム感が期待できるので、シワが出来にくくなります。またシワになりやすい素材でも、軽くアイロンを掛けるだけで、簡単にシワを伸ばすことができます。

注意　仕上げ剤には防水加工が施された衣類を回復させる効果はありません。スキーウェアなどはお洗濯の後に、衣類が乾いてから市販の防水スプレーをご使用下さい。

大切な衣類をずっと・・・

仕上げ剤をご使用頂く事で、衣類がくたびれにくくなります。購入時の風合いを保つことができますので、お気に入りの衣類を長く着続けることができます。

再生紙を使用しています。